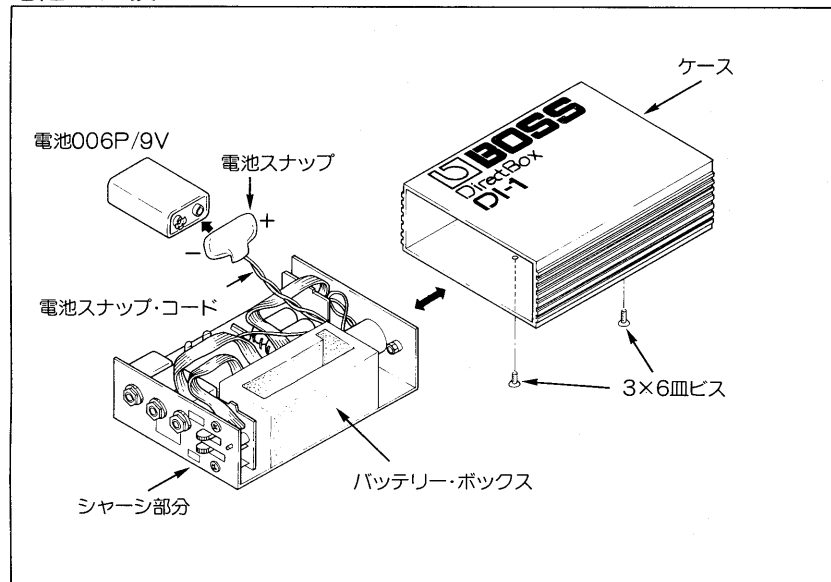
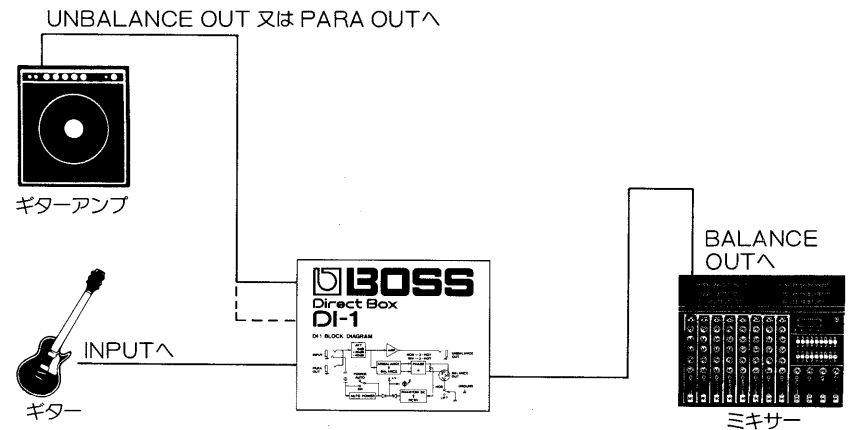
取扱説明書

●この説明書をよく読んで正しい接続方法でお使いください。

電池の交換

接続方法

＊DI-1からギター・アンプ等に接続するときは、通常アンバランス・アウト・ジャックを使用してください。

電池の交換

使用する電池は006P/9V1個です。

1. 本体底部のネジをプラス・ドライバーではずしてください。(2ヶ所)
2. 本体からシャーシ部分を抜き取ります。
3. バッテリー・ボックスから古い電池を取り出し、スナップをはずします。
4. 新しい電池をスナップに接続し、バッテリー・ボックスに入れます。
5. シャーシ部分をケースに入れ、最後に本体底部のネジをプラス・ドライバーでしめつけてください。(2ヶ所)

※このとき電池コード等がシャーシとケースの間に挟まれないように注意してください。
※ネジはしっかりと締めてください。

取扱上の注意

- ご使用にならないときは、接続プラグをインプット・ジャックから必ず抜きとってください。
- ほこりの多い所、湿度や温度の高いところでの使用は避けてください。
- 長時間ご使用にならない場合はバッテリー・ボックスから電池を取り出して保管してください。電池の液もれによる故障を防止します。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

取扱説明書の英語版(有料)をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。
If you should require an English Owner's Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

仕様

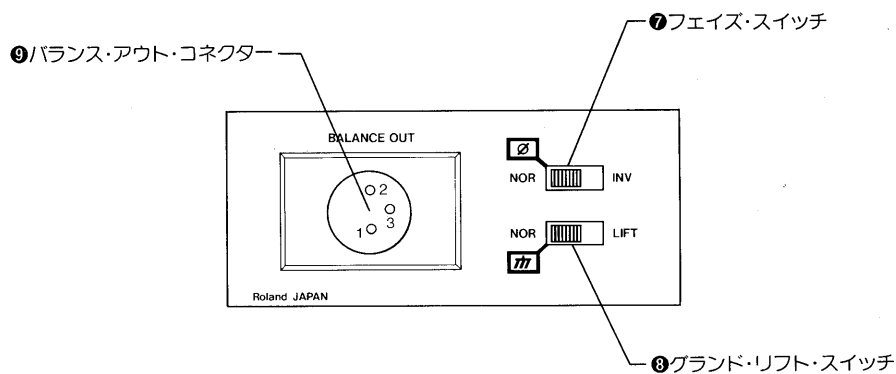
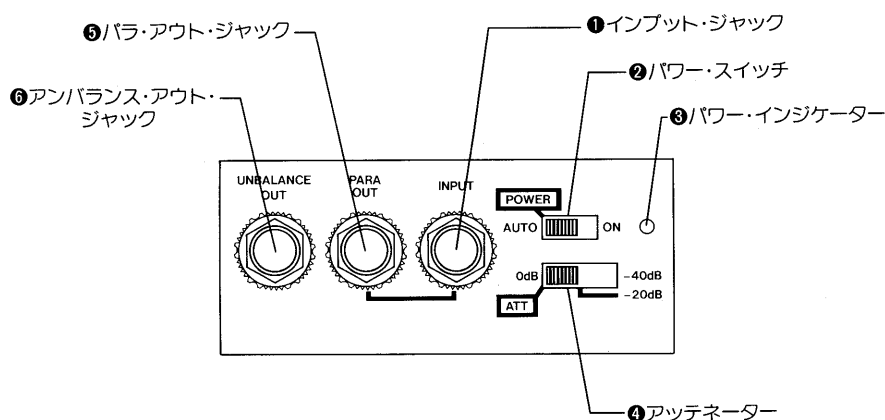
電源	9V DC 006P×1またはファンタム電源24V〜48V DC
定格入力レベル	-20dBm/0dBm/+20dBm切換
最大入力レベル	+45dBm(1kHz)、390Vp-p
入力インピーダンス	4.7MΩ/37kΩ/33kΩ入力アッテネーターに対応して切り換え(パワー・スイッチがONの時)
定格出力レベル	-18dBm(バランス・アウト600Ω負荷) -20dBm(アンバランス・アウト50kΩ負荷)
最大出力レベル	+8dBm(バランス・アウト600Ω負荷) +8dBm(アンバランス・アウト50kΩ負荷)
出力負荷インピーダンス	200Ω以上(バランス・アウト) 10kΩ以上(アンバランス・アウト)
周波数特性	20Hz〜40kHz(+0.5/-1dB)
残留ノイズ	-110dBm以下(IHF-A)
歪率	0.05%以下
AUTO POWER ON/OFF	スイッチング感度-50dBm、無音検出時間約15分
接続端子	インプット、パラ・アウト、アンバランス・アウト、バランス・アウト
スイッチ	パワー(ON/AUTO)、ATT(0dB/-20dB/-40dB)、 フェイズ(NOR/INV)、グランド・リフト(NOR/LIFT)
消費電流	6mA
外形寸法	96.5(W)×46(H)×125(D)mm
重量	480g
付属品	取扱説明書、サービスの窓口

※製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

BOSS
ボス株式会社
発売元：ローランド株式会社
2630696　'99-1-E3-31SE

Direct Box DI-1

- DI-1はアクティブ方式によるプロ仕様のダイレクト・ボックスです。
- 高インピーダンスの入力回路によりエレキ・ギター、エレキ・ベース等が直接接続でき、音質劣化がありません。
- オート・パワー・オン／オフ回路を装備。入力信号がなくなると、自動的に電源が切れます。
- ファンタム電源対応により、ファンタム電源内蔵のミキサーから電源を供給することができます。
- 入力アッテネーターにより幅広い入力に対応できます。
- フェイズ・スイッチによりバランス・アウトの極性を切り換えることができます。
- グランド・リフト・スイッチにより入力とバランス・アウトのアースを絶縁することができます。
- 入力のパラ・アウト・ジャックを装備。
- グランド保障型のダイレクト・ボックスなので、バランス・アウトの1番ピンと2番ピン(又は3番ピン)をショートしても正常に動作します。

各部の名称とはたらき

❶インプット・ジャック

このジャックは電源スイッチ兼用になっています。プラグを接続すると電源がオンになり、抜くとオフになります。(電池動作時)

＊ファンタム電源でご使用の場合、このジャックは電源スイッチとしては働きません。

❷パワー・スイッチ

〔AUTO〕：オート・パワー・オン／オフ回路が働き、信号がなくなってから約15分後に自動的に電源が切れます。電源が切れてから再び信号が入力されると自動的に電源がオンになります。(オート・パワー・オン)

〔ON〕：オート・パワー・オン／オフ回路は働かず、インプット・ジャックにプラグを差し込むと、電源は常にオンになります。

＊ファンタム電源でご使用の場合、このスイッチは働きません。

＊オート・パワー・オン時に、若干のノイズが発生することがあります。

❸パワー・インジケーター

電源がオンの時点灯します。インジケーターが暗くなったり点灯しない場合は電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

＊ファンタム電源でご使用の場合このインジケーターは常に点灯し、電源が正しく供給されていることを表わします。

❹アッテネーター

接続する機器に応じて最適の位置を選んでください。

〔0dB〕：ギター、ベース、キーボードその他電子楽器、民生用オーディオ機器。
〔−20dB〕：プロ用機器(定格＋4dBm)。
〔−40dB〕：ギター・アンプ等のスピーカー・アウト。

❺パラ・アウト・ジャック

インプット・ジャックに入力された信号がそのまま出力されます。

❻アンバランス・アウト・ジャック

インプット・ジャックに入力された信号がDI-1のアッテネーター、バッファーを通った後、出力されます。

❼フェイズ・スイッチ

バランス・アウト・コネクターの極性を切り換えることができます。
〔NOR〕：3番ピンがHOT側になります。
〔INV〕：2番ピンがHOT側になります。

❽グランド・リフト・スイッチ

入力のアースとバランス・アウトのアースとを絶縁することができます。アース・ループなどによってハムやノイズが出た場合、このスイッチをリフト側に切り換えてください。通常はノーマルの位置にセットしておきます。

＊ファンタム電源でご使用の場合、このスイッチは必ず〝ノーマル〟側にセットしておいてください。

❾バランス・アウト・コネクター

バランス・タイプの入力端子を持つ機器との接続に使用します。ファンタム電源内蔵型のミキサー等に接続すると、DI-1の電源は自動的にオンになります。